

英語教育の推進について

令和2年2月10日
高等学校課

【今後の英語教育推進のポイント】

新学習指導要領の順次全面実施に対応するため、小・中・高等学校の発達段階に応じた鳥取型英語教育に取り組むとともに、「小・中・高一貫した学び」を重視した英語教育を推進するため、指導内容や指導法等の接続・共有を重視した小中連携及び中高連携を強化する。

また、中・高等学校では、生徒の英語による発信力の強化を図るため、外部試験を活用して英語学習の動機づけを図るとともに、外部有識者の指導を受けながら4技能をバランスよく育成する英語教育の推進を図る。

1 本県小・中・高校生に育成したい力や態度、能力等について

- (1) 小学生
 - ・英語に慣れ親しみ、好きなもの等自分の身近なことについて、英語でやり取りできる力
 - ・外国語やその背景にある文化の多様性を尊重する姿勢や態度
- (2) 中学生
 - ・身近なことや社会的なことについて、自分の気持ちや考え・意見等を英語でやり取りできる力
 - ・異文化理解を深め、多様な価値観や文化等を尊重する姿勢や態度
- (3) 高校生
 - ・社会的な問題や時事問題等について英語で発信し議論できる力
 - ・幅広い話題について情報や考え等を的確に理解したり適切に伝え合ったりする能力

2 本県英語教育の課題について

- I 英検3級以上相当の英語力を有する中学生の割合38.8%、高校生の割合42.7%と低迷（話す・書く等発信力の技能に課題があり、授業で行う言語活動の質的改善が求められる）
- II バランスの取れた4技能を育成する技能統合型の授業が実践されていない（中学校、高等学校）
- III 指導内容や指導方法等の接続・共有を重視した小中連携及び中高連携の強化に課題がある
- IV 児童生徒が日常的に英語を使ってコミュニケーションを図る場が大都市に比べて少ない

3 課題解決のための方向性について

- I, II アセスメント型外部試験を活用し、中・高校生の英語学習のさらなる動機づけを図るとともに、生徒の実践的な英語力の定着度を把握して指導改善に活かす。
 - 外部試験を活用した英語力アセスメントをとおした生徒の英語力向上（中学校、高等学校）
- I, II 指導主事等が学校を訪問し、全国学力・学習状況調査結果分析等も踏まえて個別に指導助言を行う等、課題等を克服する効果的な指導法を普及するとともに、児童・生徒が英語でやり取りする力を高められる指導法研修会等を継続して、教員の指導力向上を図る。
 - 平成31年度全国学力・学習状況調査結果（中学校英語）を活用した教員の授業改善の支援
 - 小学校英語専科加配教員の活用やエキスパート教員及び外部講師等による実践的な指導法研修等の取組
- III 異校種の教員が研修の場を共にすることで、指導内容や効果的な指導法のあり方について考えを共有し、小・中・高が連携した英語教育の推進を図る
 - 鳥取県が目指す「小学校及び中学校7年間の英語教育プラン」の作成と推進
 - 英語教育推進フォーラムにおいて指導理論を学び、県内の先進的な取組を学ぶ
 - 研修協力校支援研修の授業実践に触れ、各発達段階における効果的な指導法を学ぶ
- IV 子ども達の異文化の多様性を尊重する姿勢・態度を育成し、英語によるコミュニケーション能力を高めるため、小学校段階からネイティブの音声に慣れ親しむことを重視するだけでなく、海外留学・海外体験への支援のほか、海外高等教育機関と連携した取組を進めるとともに、英語キャンプの活動などを通じて実践的な英語使用の機会の充実や創出に努める。

→ ICTの積極的な活用（海外大学連携継続含め）及びALTを有効に活用する体制作り

4 令和2年度取組について（予算要求中の事業を含む）

○小学校英語専科加配教員及び小学校外国語活動支援員の配置

○鳥取短期大学ネイティブ教員による中部地区小学校訪問授業

○外国語指導力強化関係事業

令和2年度からの新学習指導要領の順次全面実施等を踏まえ、外国語指導力の強化のための各種取組を行う。

- ・鳥取県英語教育推進会議（外部有識者、小・中・高等学校教員、県教育委員会で構成）
 - 外部有識者（大学教授）の協力も得ながら、高等学校課英語教育推進室が中心となって本県の強みや課題を分析し、課題を解決するための具体的方策について検討するとともに、学習支援サイトや英語教育推進フォーラム等をとおして、課題解決のための指導モデル等を全県に提示・普及する。
- ・英語教育推進フォーラム（小・中・高等学校教員が一堂に会し、同一テーマで実践的に研修）
- ・英語教員等の指導力向上研修（指導と評価の一体化、定期テスト問題改善等について）

○小・中学校における英語4技能ステップアップ事業

国が示す「外国語教育の抜本的強化」の方針に基づき、実践的な英語等の語学力の向上やグローバル社会において様々な人と協働できる人材の育成を目指し、英語教育の充実・人材育成のための小・中・高等学校一貫した指導体制を強化する。

- ・島根大学との共同研究（小学校における実践的授業改善及び中学校定期テスト問題の改善）
- ・英語力向上事業（対象：県内全中学2年生、大学進学を希望する公立高校2年生）
 - 外部試験を活用した英語力アセスメントにより生徒の英語学習の動機づけ及び英語力向上を図るとともに、学校における技能統合型の指導をとおして、目標に到達するためのスモールステップを積み重ねられる英語学習を支援する。

○平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査結果（中学校英語）等を活用した授業改善指導主事等が学校を訪問し、授業参観や協議・意見交換等をとおして、各校の課題克服に個別に対応した指導助言を行う。

○鳥取発！高校生グローバルチャレンジ事業

グローバル化に対応できるよう、留学などの海外体験を通じて、柔軟な思考力や豊かな表現力を持ち、国際社会で活躍する人材を育成する。

- ・高校生海外体験/海外留学支援事業
- ・高校生英語弁論大会及び大会優秀者海外派遣事業（米国バーモント州等）
- ・鳥取県理数課題研究等発表会優秀者海外派遣事業（ニュージーランド・クライストチャーチ）
- ・ニュージーランドクライストチャーチ高校生架け橋プロジェクト（県内高校での受入、交流）

○とっとりイングリッシュキャンプ

県内中学生と高校生を対象に、2泊3日の英語による体験活動を実施し、英語による相互理解能力の伸長を図る。

○グローバルリーダーズキャンパス

世界トップクラスの大学である米国スタンフォード大学と連携し、インターネットを活用した県内高校生向けのライブ遠隔講座を開設することにより、幅広い国際感覚を身につけ、実践的な英語力をさらに伸ばすとともに、世界を視野に入れた活躍する高い意欲と志を持つ人材の育成を図る。



〈参考1〉

本県英語担当教員や生徒の英語力の状況及び分析について

1 平成30年度英語教育実施状況調査結果の状況及び分析について

(1) 状況

調査項目	H30達成度	全国順位	国の目標値	H29達成度	全国順位
英語担当教師の英語力 ^{※1} の状況（高等学校）	97.5%	1位	75%以上	83.3%	7位
英語担当教師の英語力の状況（中学校）	35.8%	20位	50%以上	23.2%	36位
生徒の英語力の状況（高等学校） ^{※2}	33.3%	41位	50%	36.5%	34位
生徒の英語力の状況（中学校） ^{※3}	37.1%	33位	50%	35.7%	35位

※1 英検準1級程度以上(CEFR B2 レベル以上)

※2 英検準2級以上相当(CEFR A2 レベル以上)

※3 英検3級以上相当(CEFR A1 レベル以上)

(2) 分析

- ・H29～30年度に実施した「教員の英語力向上のためのセミナー及び外部試験活用事業」に一定の成果が認められる。
- ・一方、生徒の英語力については、中学校、高等学校とも、全国の上昇度に比して伸び悩んでいる。英語教育推進リーダーによる指導力向上研修（中学校、高等学校）等で伝達・講習された4技能統合型の指導が、まだ効果的に実践されていない。

2 平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査（中学校英語）結果及び分析について

(1) 本県の状況（教科に関する調査における平均正答率（%）※）

対象	英語	
	本県（公立）	全国（公立）
中学3年生	54%	56%

※「話すこと」調査は平均正答率算出の対象外

(2) 分析（児童生徒質問紙調査結果とのクロス集計より）

- ・「自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていた」「生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていた」と回答した生徒の割合が高く、生徒の言語活動の充実が図られつつある。
- ・文脈に応じて接続詞を判断したり、条件・設定に応じて与えられた情報を活用して英文を作成したりする等、スピーディかつ適切に情報を活用・編集し、知識を活用して正確に英語で表現する力を定着させる指導に工夫が求められる。

【参考】平成29年度文部科学省英語力調査結果（中学3年生・高校3年生）の概要（抜粋）

中学3年生の英語力の傾向（質問紙調査とのクロス集計より）

現行の学習指導要領で示されている、「与えられたテーマについて簡単なスピーチ」や「まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取る」などの「言語活動」を行っている学校の方が、生徒の「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の得点が高い。特に、「聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたり」するなどの統合的な言語活動を行っている学校の方が、「話すこと」「書くこと」の得点が高いだけでなく、「聞くこと」「読むこと」の得点も高い。

〈参考2〉

英語教育に関するこれまでの主な取組

(1) 小学校

- ・小学校外国語活動支援員の配置 (H26～)
- ・小学校英語パワーアップ事業の指定と支援 (H28～R1)
(県内5つの指定小学校に1名ずつALTを配置し、小学校における英語教育を推進)
- ・英語でわくわく日めくりカレンダー作成・配布 (県内全小学3年生児童に配布) (H30)
- ・小学校英語専科加配教員の配置 (H30～)

(2) 中学校

- ・「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標の公表 (学校HPに掲載する等) (H25～)
- ・イングリッシュシャワーーム (指定校にALTを配置するとともに、英語圏文化満載の交流用スペースを設置) (H27～H29)
- ・外部民間試験を活用した中学校における授業改善プラン (H29～H30)
- ・生徒の英語力向上事業 (県内全中学2年生を対象に英検I B Aを受検) (R1～)

(3) 高等学校

- ・鳥取発！高校生グローバルチャレンジ事業 (海外体験・海外留学支援事業等) (H24～)
- ・グローバルリーダーズキャンパス (スタンフォード大学と連携した遠隔講座) (H28～)
- ・生徒の英語力向上事業 (進学希望の公立高校2年生を対象にG T E Cを受験 (1回分) (R1～)

(4) 中・高等学校

- ・とっとりイングリッシュキャンプ (2泊3日, 約50名参加) (H26～)

(5) 教員研修

- ・英語教育推進会議 (小, 中, 高) (H25～)
- ・英語教育推進フォーラム (小, 中, 高) (H26～)
- ・英語教育推進リーダーによる指導力向上研修 (小, 中, 高) (H26～)
- ・「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標の効果的な活用及び指導と評価の一体化に関する研修 (中, 高) (H28～)
- ・小学校英語教育の拡充強化に係る研修 (小, 悉皆) (H29)
- ・教員の英語力向上事業 (国が示す資格未取得の中。高英語教員を対象) (中, 高) (H29～H30)

「小・中・高一貫した学び」を重視した英語教育の推進イメージ図

児童・生徒

「鳥取発！高校生グローバルチャレンジ事業」

- 大学や海外，社会で英語力などを伸ばす基盤を確実に育成

「外部試験の活用」

- 生徒の英語力の検証（中学校，高校）
- 外部検定試験等を活用し，各学校段階における生徒の客観的英語力を検証するとともに，指導改善に活かす。

「グローバルリーダーズキャンパス」

- スタンフォード大学と連携し，インターネットを用いたライブ遠隔講座を開講。実践的な英語力と世界を視野に入れて活躍する人材の育成

「鳥取イングリッシュキャンプ」

- 県内中高生を対象に英語による体験学習を実施。



家庭でも英語でやり取り

平成30年度県教育委員会作成
県内全小・中・高3年生に原重に配布

教員

高校

【目標】 時事的な問題等について，英語で発信し議論する力の育成
 【課題】 生徒の英語力（技能統合的な言語活動の充実による，「話すこと」「書くこと」における発信力の強化）
 → 各技能の客観的評価を活用してバランスの取れた英語 4 技能を育成

○ 高度化される言語活動とおした思考力・判断力・表現力の育成
 ○ アセスメント型外部 4 技能試験結果分析に基づき効果的な指導法開発・普及
※ 高等学校については「21世紀型学力育成事業」で対応

GTEC の活用

指導改善のための PDCA サイクル

英語教育推進フォーラム

中学校

【目標】 身近な生活や社会的なことについて自分の考えや気持ちを英語で伝え合う力の育成
 【課題】 生徒の英語力（令和元年度全国学力・学習状況調査結果）内容面での小中連携及び内容に踏み込んだ言語活動重視に対応した指導

○ 新学習指導要領において「授業は英語で行うことを基本とする」が新たに規定
 ○ 「聞く」「話す」のウェイトが従来より上がり，習得語彙数や文法事項も増加

鳥根大学との共同研究

指導 助言

小中連携の強化

【目標】 英語に慣れ親しみ，英語で伝えたいという意欲の育成
 【課題】 新学習指導要領の円滑な導入及び小学校英語教科科化に伴う指導体制強化

○ 中学年：主に学級担任がALT等を一層積極的に活用したT.Tを中心とした指導
 ○ 高学年：学級担任が専門性を高めて指導するとともに，専科教員やALT等を一層積極的に活用

小学校英語専科教員指導力向上事業：ワークショップ型研修会，授業研究会
 → 小学校英語専科教員の指導力を担保
 → 今後の小学校英語教育を牽引するリーダーのネットワーク構築

英検 I B A の活用

指導改善のための PDCA サイクル

指導主事による学校訪問・指導改善支援

指導 助言

指導 助言

指導 助言

指導 助言

指導 助言

指導 助言



家庭でも英語でやり取り

平成30年度県教育委員会作成
県内全小・中・高3年生に原重に配布

英語教育推進リーダー
公開授業・研究協議会

英語教育推進リーダー
公開授業・研究協議会